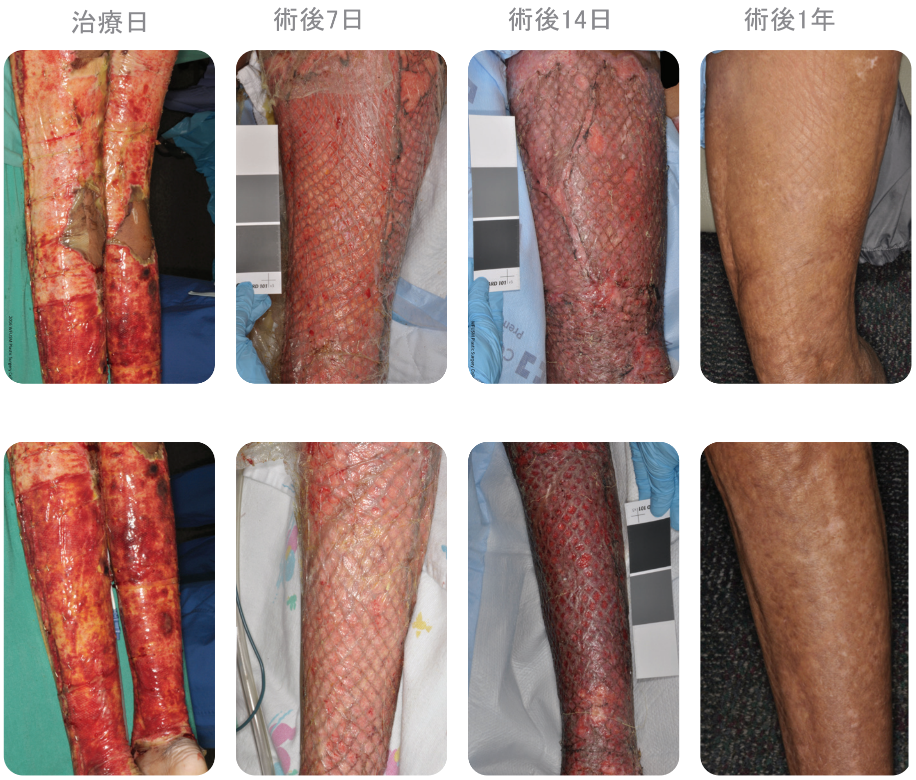
RECELL®
Autologous Cell Harvesting Device

CASE STUDY

Jeffrey Carter, MD
University Medical Center, New Orleans, LA and
Joseph Andrew Molnar, MD, PhD, Wake Forest Baptist Medical Center, Winston-Salem, NC

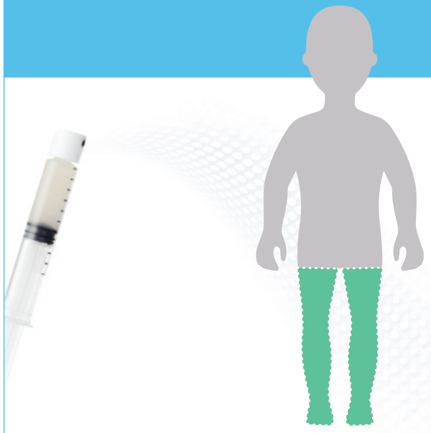
62% TBSAの全層熱傷を受傷した小児患者に対するRECELL®治療



患者の状態

頭部、胸部、背部、両下肢への火炎による62% TBSAの混合深度熱傷を受傷した12歳女児。本症例では、両下肢の治癒アウトカム及び1年のフォローアップについて述べる。医師はインテグラ真皮欠損用グラフト及び網状分層植皮(STSG)をRECELLと組み合わせて治療を行った。

RECELL 治療部位



治療法

始めに脚部の切除術を実施し、インテグラ真皮欠損用グラフトの適用を行った。受傷から18日後、インテグラのシリコン層を剥がし、VERSAJET®を使用して創 面環境調整を行い、RECELLシステムを用いてSpray-On Skin™ Cellsを作成し た。ステイプラーで固定した4:1網状分層植皮(STSG)の上から細胞懸濁液を噴 霧した。治療部位の被覆には、Telfa™ ClearおよびXeroform™を使用。手と関節部の熱傷部位に対するRECELLの安全性と効果については、確立されていない。

臨床的アウトカム

高倍率STSGをインテグラ真皮欠損用グラフトの上から適用後、RECELLのSpray-On Skin Cellsを噴霧した事により、7日目には75%、14日目には95～99 %の再上皮化が得られ、RECELL治療から28日目には完全上皮化が得られた 。受傷から1年後、医師によると、患者の熱傷創に中程度のテクスチャーと血色 、色素のミスマッチが見られたとの報告があった。患者の入院期間は、28日で あった。

結語

本症例では、全層熱傷に対するSpray -On Skin Cellsのインテグラおよび高 倍率STSGと組み合わせ使用が示さ れている。62% TBSAという広範囲熱 傷であるにも関わらず、28日以内の 創部完全閉鎖および良好な長期アウトカムが得られている。

本紙に掲載している症例は、臨床成績の一部を紹介したものです。全ての症例で同様の効果を保証するものではありません。

RECELL®
Autologous Cell Harvesting Device

RECELL専用サイト

製造販売元
COSMOTEC コスモテック株式会社

製造元
avita medical

© 2022 AVITA Medical. All rights reserved.